

Makuhari's Memory

『文化芸術』とは。全国の仲間と語り合った熱い5日間!

令和7年1月20日～24日の5日間にわたり、「文化芸術の活用による地域社会の活力の創造」研修を受講しました。本市の文化振興課に配属されて2年目でまだまだ経験が浅いので、担当業務や今後市で実施する事業の参考になればと思い、参加を希望しました。

各自治体での『文化芸術』の業務は多岐にわたり、受講生の方も施設管理、生涯学習を担当している方から文学館や図書館の学芸員の方など、幅広い分野・年代の方がつどい、代表幹事の方を中心とした受講生同士での情報交換は、とても刺激的なものでした。

講義では、平田オリザ先生をはじめ、各分野に精通した講師の方々の貴重なお話を聴くことができ、行政として『文化芸術』を通じて人や活動をつなげていくことが重要であると感じました。また、課題演習では、

発表に向けて班ごとに課題や解決策について話し合い、時には夜遅くまで発表の準備に励んだことは、本当に良い思い出です。

短い期間の中で、受講生の皆様とはまだまだ語り足りない部分もありましたが、職場ではなかなか経験できない密度の濃い5日間でした。この研修で得た知識や経験、何より受講生の皆様とのつながりを糧に、これまで以上に業務に励みたいと思います。最後になりますが、講師の皆様、市町村アカデミーの職員・従業員の皆様、

快く送り出してくれた職場の皆様に感謝いたします。そして、受講生の皆様、文化芸術を通じた地域発展のためにお互い頑張っていきましょう!



秋本 卓哉

大阪府茨木市
市民文化部文化振興課政策係主査
(受講研修科目)
文化芸術の活用による地域社会
の活力の創造
第38期第1組(令和6年)